

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2003-133941 (P2003-133941A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)
 【出願番号】特願 2001-330949 (P2001-330949)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 3 K 19/0175
 G 1 1 C 11/417
 H 0 3 K 17/16
 H 0 3 K 17/687

【F I】

H 0 3 K 19/00 1 0 1 J
 H 0 3 K 17/16 L
 H 0 3 K 17/687 A
 G 1 1 C 11/34 3 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 13 日 (2004.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 3】

前記出力駆動回路は、

前記第 2 の電源電圧を動作電源電圧として受け、前記第 2 のラッチ回路の出力信号をバッファ処理するバッファ回路と、

前記バッファ回路の出力信号に従って選択的に導通し、導通時、前記主出力ノードを前期第 2 の電源電圧と極性の異なる電圧レベルに駆動する第 2 の出力トランジスタとを備える、請求項 2 記載の半導体装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 6】

好ましくは、この出力駆動回路は、第 2 の電源電圧を動作電源電圧として受け、第 2 のラッチ回路の出力信号をバッファ処理するバッファ回路と、このバッファ回路の出力信号に従って選択的に導通し、導通時、主出力ノードを第 2 の電源電圧と極性の異なる電圧レベルに駆動する第 2 の出力トランジスタとを含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 1 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 1 5】

また、出力駆動回路として、第 2 のラッチ回路の出力信号をバッファ処理する回路と、このバッファ回路の出力信号に従って主出力ノードを駆動する第 2 の出力トランジスタと

で構成することにより、簡易な回路構成で、第 1 の電源電圧供給遮断時に、確実に主出力ノードを出力ハイインピーダンス状態に設定することができる。